



元氣とタイムリーな情報を提供する

# 五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 平成29年10月16日 第840号「週刊五十嵐レポート」

## 学ぶ時間・考える時間

経営における実行の手順は、1.社長の願望・熱意・向上心、2.目的・目標を定める、3.目標を効果的に達成する戦略(やり方)を考える、4.実行(戦術)する、の順番。

中でも社長の願望・熱意・向上心は、全体のウエイトで半分以上占める。それだけ中小企業の経営に占める社長のメンタル面が重要とのこと。(リーマンショック後、社長の願望・熱意・向上心が減退しているという話もある)

戦略社長塾・銀座校に2名の社長がはじめて参加された。どうして参加されたか、動機を聞いてみた。「7年前に社長になった。それまで職人だったのが経営者に。経営者になろうとやってきた。経営について学ぶ時間を作りたいと思っていた。会社を離れ、外部と遮断されており、幸せな時間だった」。「業績が悪くなり、ランチェスター経営の話を聞いて、(やり方が)間違っていたことがわかった。経営を学べば、良くなると思った。経営のことを考える時間がつくれたことが自信につながる」。

戦略社長塾・小岩校の土曜・集中塾に参加された社長にも聞いてみた。「2年前に社長になってから相談相手もおらず、ひとりで悩んでいた。外部環境が厳しくなり、思い切って参加してみた。戦略の話を聞いて、筋道が立ち、スッキリした。うれしい時間だった」。

戦略社長塾に参加される社長は、このままではいけないという危機感を持っている。それが願望・熱意・向上心に繋がっている。社長業のレベルを上げるには、学び、考える時間が必要。孔子の論語に「学びて思わざれば、すなわちらく、思うて学ばざればすなわりあやうし」(学ぶだけで深く考えなければ、本当の意味がわからない。考えるのみで学ばなければ、独断に陥って危ない」と書いてある。たしかに。

願望・熱意・向上心の顕れは、時間をつくること。学ぶ時間をつくり、思考する時間をつくる。そして行動を起こす。まずは時間をひねり出そう。

ちょっと  
気になる出来事

9月26日付、日研新聞の「一目均衡」というコラム。  
「ピュアプレーの時代」。

米ダウ・ケミカルと米デュポンが統合し、世界最大の総合科学グループが生まれた。巨大化が目的ではない。農業・素材・特殊素材に分割し、それぞれが独立企業として上場を目指すことが最大の狙い。

官僚主義がはびこる持株会社を打破し、グローバルな事業部門が権限を握る。コングロマリット(複合企業)の時代は終わった。

相乗効果の薄い事業を抱えていては経営資源が分散され、企業価値が高まらない。欧米企業は単一事業で勝負する「ピュアプレー」にカジを切ろうとしている。

集中と分散。集中は力が強くなり、分散は力が弱まる。当たり前のことだけれど、油断すると見えなくなる。



一口メモ  
知識

### 明日をつくるために今日何をなすべきか

われわれは未来について、2つのことしか知らない。1つは、未来は知りえない。2つは、未来は今日存在するものとも、今日予測するものとも違うということである。

これは重大な意味をもつ。第1に、今日の行動の基礎に、予測を据えても無駄である。望みうることは、すでに発生したことの未来における影響を見通すことだけである。

第2に、未来は今日とは違うもので、かつ予測できないものであるがゆえ、逆に、予測できないことを起こすことは可能である。リスクが伴う。しかし、合理的な行動である。何も変わらない居心地のよい仮定に安住するよりもリスクは小さい。

まずはじめになすべきことは、明日何をなすべきかを決めることではなく、明日をつくるために今日何をなすべきかを決めることである。

P.F.ドラッカー 「チェンジ・リーダーの条件」より

- 「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日 午前10時～12時
- 「戦略社長塾東京」小岩校 毎週水曜日 午前10時～12時
- 「戦略社長塾東京」銀座校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

03-3659-7703 Fax 03-3659-7077 i-daruma@igarashireport.com

